

令和 6 年度

高梁市

まちづくり及び幸福度に関する市民アンケート

－ 調 査 結 果 報 告 書 －

目 次

I. アンケートの概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査実施の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
II. 調査結果	
1. 回答者の属性	2
(1) 居住地域	2
(2) 性別	2
(3) 年齢	2
(4) 職業	3
(5) 家族構成	3
2. 高梁市への愛着、定住意向	4
(1) 高梁市への愛着	4
(2) 愛着を感じる理由	4
(3) 今後の定住意向	5
(4) 引っ越したい理由・転出したい理由	5
3. まちづくりにおける市民ニーズ	7
(1) まちづくり施策についての市民ニーズ	7
(2) 分野別の重点的施策ニーズ	10
(3) 重点課題への取り組みに対する市民ニーズ	13
4. 市民の幸福度	16
(1) 自分自身の幸福度	16
(2) 地域の暮らしの満足度	16
(3) 自分・同居家族以外の町内（集落）の人の幸せ	16
(4) 身近なまわりの人の幸せ	17
(5) 5年後の幸せ	17
5. 市民の実感	18

I. アンケートの概要

1. 調査の目的

本アンケート調査は、令和 3 年度から 12 年度の 10 年間を計画期間とする「高梁市総合計画」において、令和 8 年度～令和 12 年度の後期基本計画策定にあたり、市民の意見を聴取するため、実施した。

2. 調査の実施概要

(1)調査対象

① 調査対象、標本数及び回収率

対象	高梁市在住の 20 歳以上の市民を無作為抽出
配布数	1,000 件
有効回答数	385 件
回収率	38.5%

(2)調査方法

- ・ 対象者に対して、郵送により紙面を配布した。
- ・ 回答は、紙面での回答及び WEB による回答とした。

(3)調査期間

- ・ 令和 6 年 7 月 3 日(水)～7 月 31 日(水)

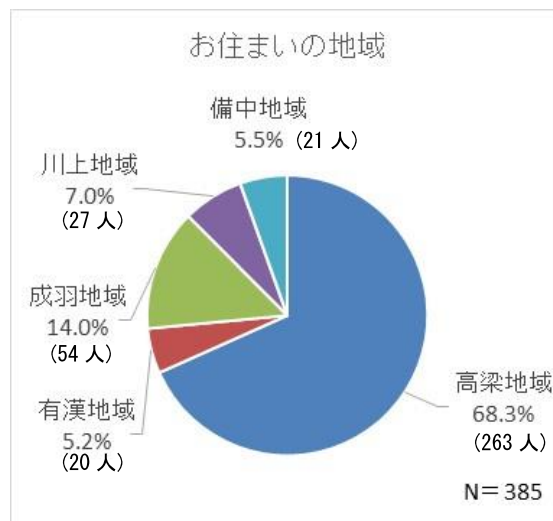
Ⅱ．調査結果

1．回答者の属性

(1) 居住地域

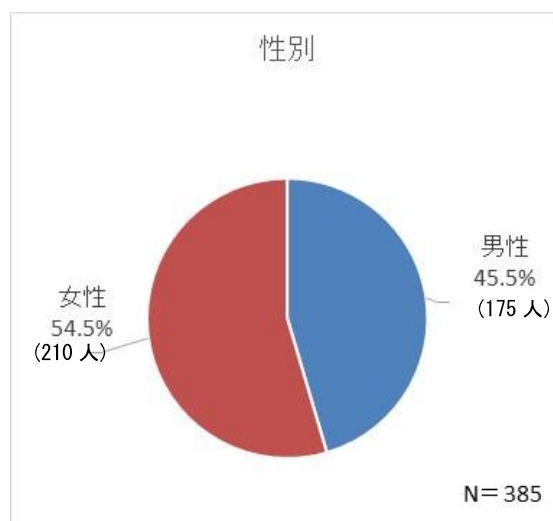
回答者の居住地は、高梁地域が最も多く、68.3%を占めた。

次いで成羽地域 14.0%、川上地域 7.0%、備中地域 5.5%、有漢地域 5.2%、であった。



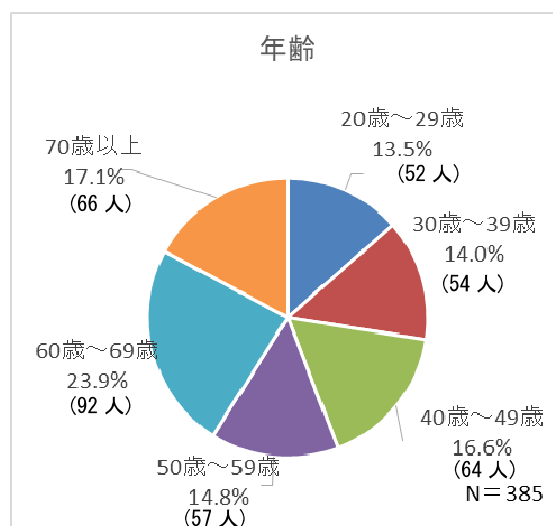
(2) 性別

回答者の性別は、男性 45.5%、女性 54.5%で、やや女性の方が多くを占めた。



(3) 年齢

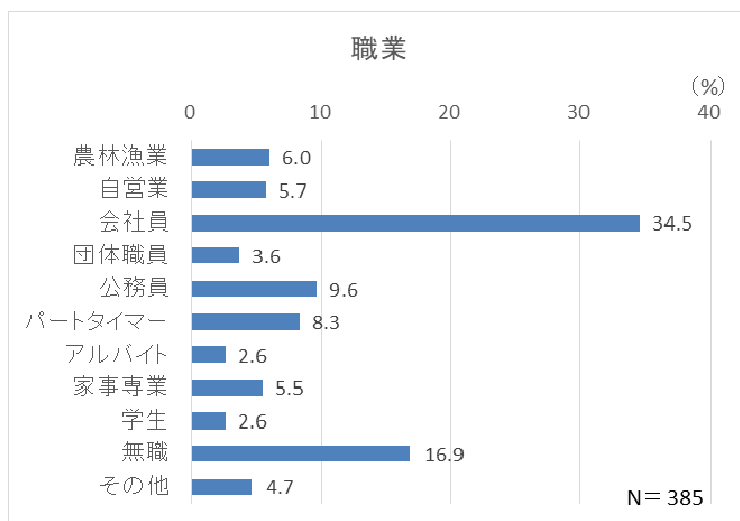
回答者の年齢は、60 歳代が最も多く全体の 23.9%、次いで 70 歳以上が 17.1%であり、20 歳代が最も低く 13.5%であった。



(4)職業

回答者の職業は、34.5%を会社員が占めた。

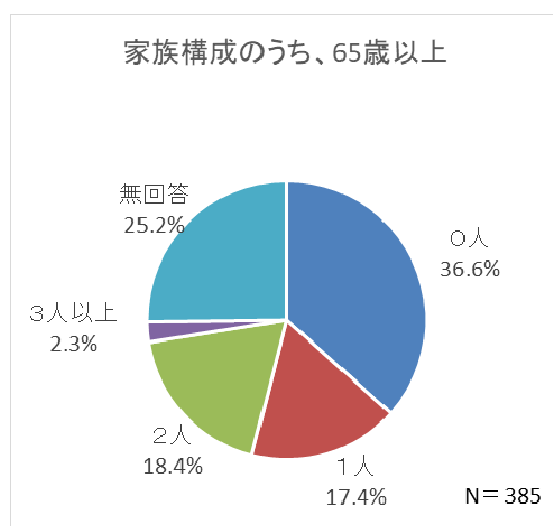
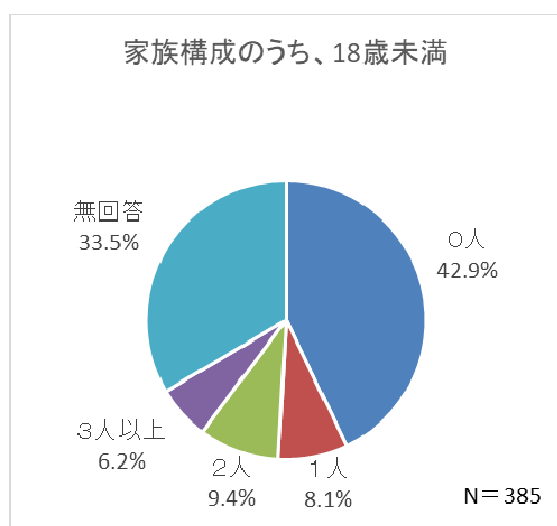
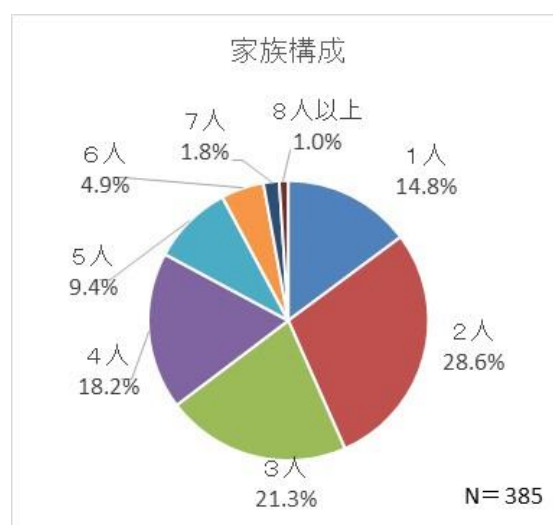
次いで無職が 16.9%であった。



(5)家族構成

回答者の家族構成は 2 人暮らしが最も多く、28.6%、次いで 3 人暮らしが 21.3%である。

18 歳未満の同居家族は 4 割以上が 0 人と回答した。また、65 歳以上の同居家族は 36.6%が 0 人と回答しており、回答者本人も同居家族も年齢の高い市民が多く回答している。

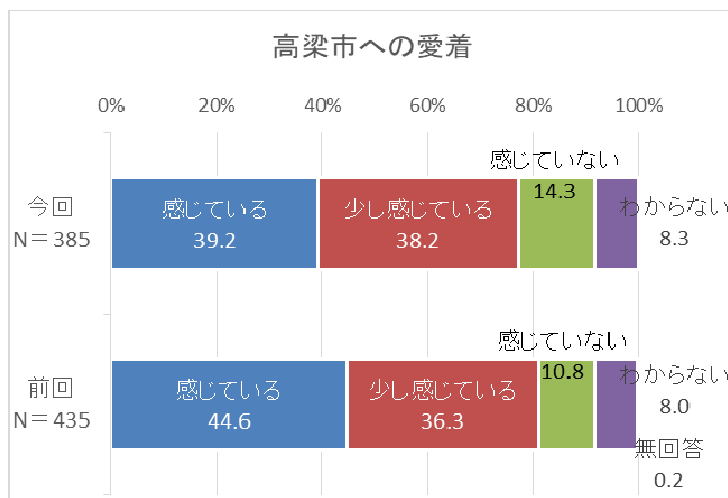


2. 高梁市への愛着、定住意向

(1) 高梁市への愛着

高梁市に愛着を「感じている」「少し感じている」とそれぞれ 4 割近くが回答しており、合わせて 77.4%となった。

前回調査(令和元年度に実施した「まちづくりに関する市民アンケート調査」。以下、「前回調査」と記載)では、愛着を「感じている」「少し感じている」という割合が 80.9%であり、前回より 3.5 ポイント減少した。

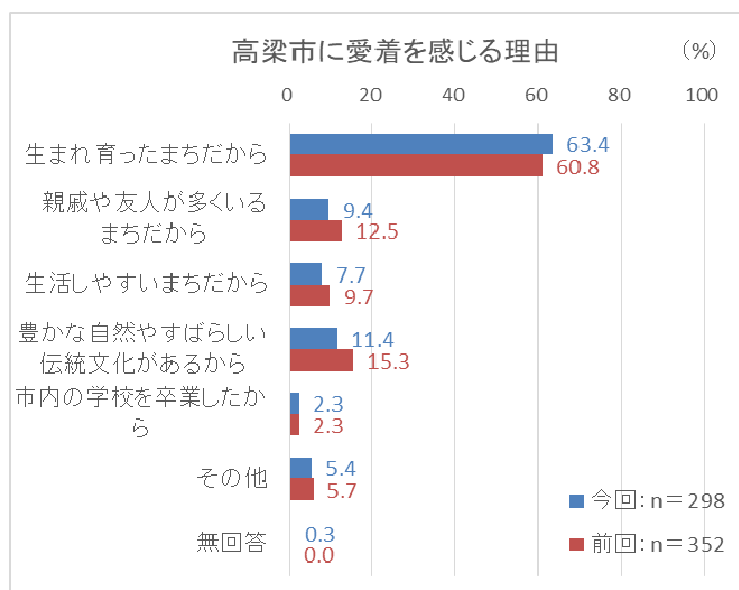


(2) 愛着を感じる理由

高梁市に愛着を感じる理由として、6 割以上が「生まれ育ったまちだから」と回答している。

他に、「豊かな自然や素晴らしい伝統文化があるから」と 1 割強が回答した。

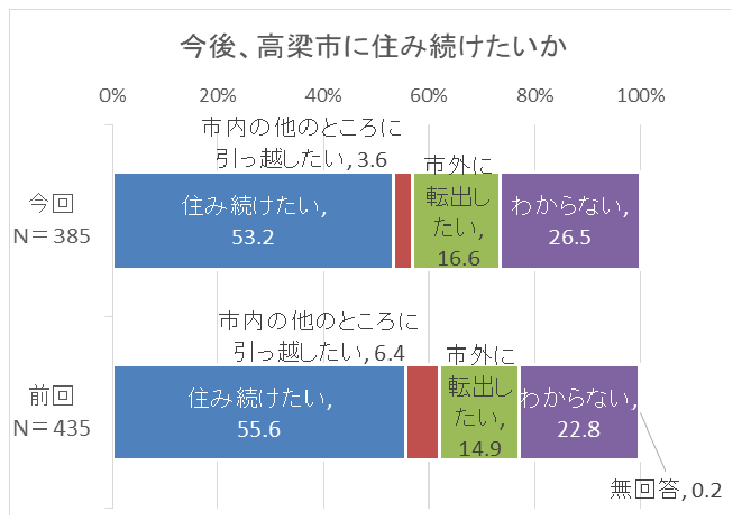
前回調査と比較すると、「生まれ育ったまちだから」という理由が 2.6 ポイント増加したのに対し、「親戚や友人が多くいるまちだから」、「生活しやすいまちだから」「豊かな自然や素晴らしい伝統文化があるから」といった理由が低下している。



(3) 今後の定住意向

現在住んでいるところに今後も住み続けたいという回答が全体では 53.2%となった。これを年代別にみると、20 歳代では 32.7%、30 歳代では 33.3%、60 歳代では 69.6%、70 歳以上では 69.7%と、若い世代と高齢世代とでは開きが出た。

前回調査と比較すると、「住み続けたい」が 2.4 ポイント、「市内の他の所に引っ越したい」が 2.8 ポイント減少したのに対し、「高梁市外に転出したい」が 1.7 ポイント増加した。

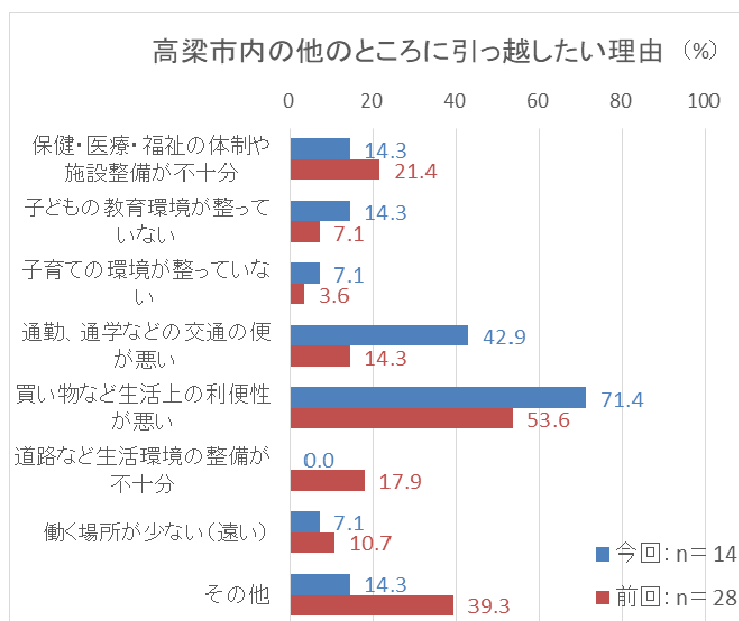


今後、高梁市に住み続けたいか	全体	住み続けたい	高梁市内の他のところに引っ越したい	高梁市外に転出したい	わからない
上段：回答数	(385)	205	14	64	102
下段：%		53.2	3.6	16.6	26.5
20歳～29歳	(52)	17	4	17	14
		32.7	7.7	32.7	26.9
30歳～39歳	(54)	18	1	15	20
		33.3	1.9	27.8	37.0
40歳～49歳	(64)	29	4	11	20
		45.3	6.3	17.2	31.3
50歳～59歳	(57)	31	1	11	14
		54.4	1.8	19.3	24.6
60歳～69歳	(92)	64	3	4	21
		69.6	3.3	4.3	22.8
70歳以上	(66)	46	1	6	13
		69.7	1.5	9.1	19.7

(4) 引っ越したい理由・転出したい理由

高梁市内の他のところに引っ越したい回答が 14 件あったが、その理由として、7 割が「買物など生活上の利便性が悪い」を挙げ、次いで 4 割以上が「通勤、通学などの交通の便が悪い」ことを理由としている。

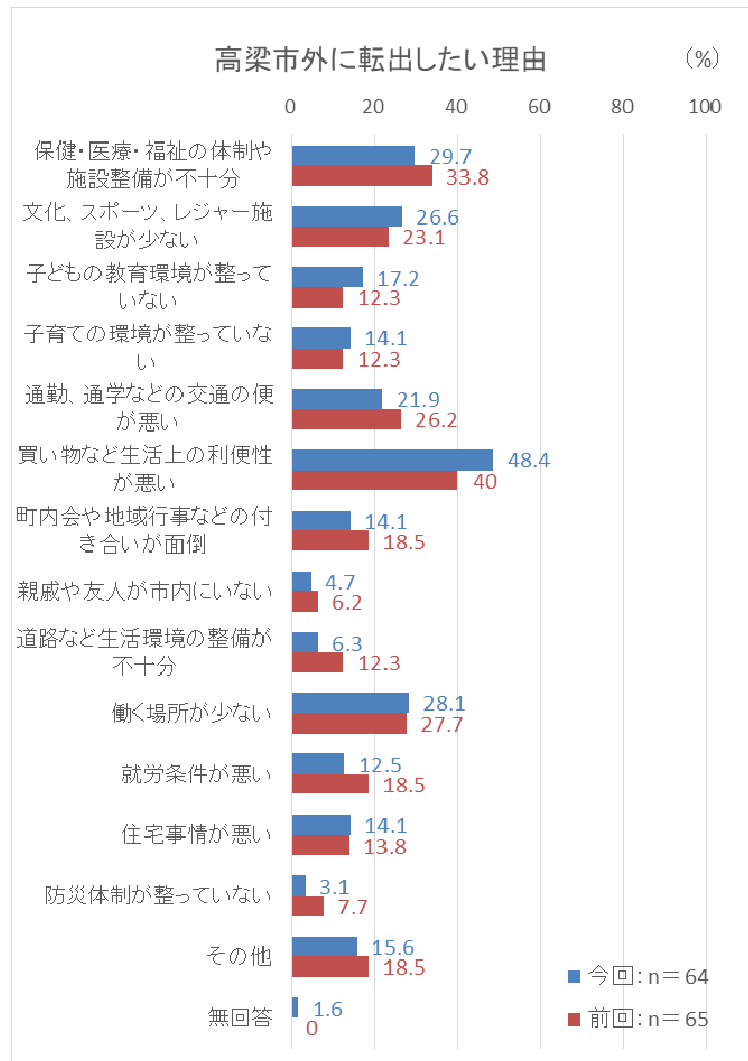
前回調査と比較すると、「通勤、通学などの交通の便が悪い」、「買物など生活上の利便性が悪い」という日常生活における利便性の理由が大きくなっている。



また、高梁市外に転出したいという回答は 64 件あり、その理由としては、5 割近くが「買物など生活上の利便性が悪い」を挙げている。これは、前回調査でも多くの回答があったが、さらにその割合が高まっている。

次いで3割近くが「働く場所が少ない」としている。

他には、20 歳代では「文化、スポーツ、レジャー施設が少ない」、30 歳代では「子育ての環境が整っていない」という理由が挙げられた。これらの理由も前回調査より高い割合となっており、取り組みが求められる。

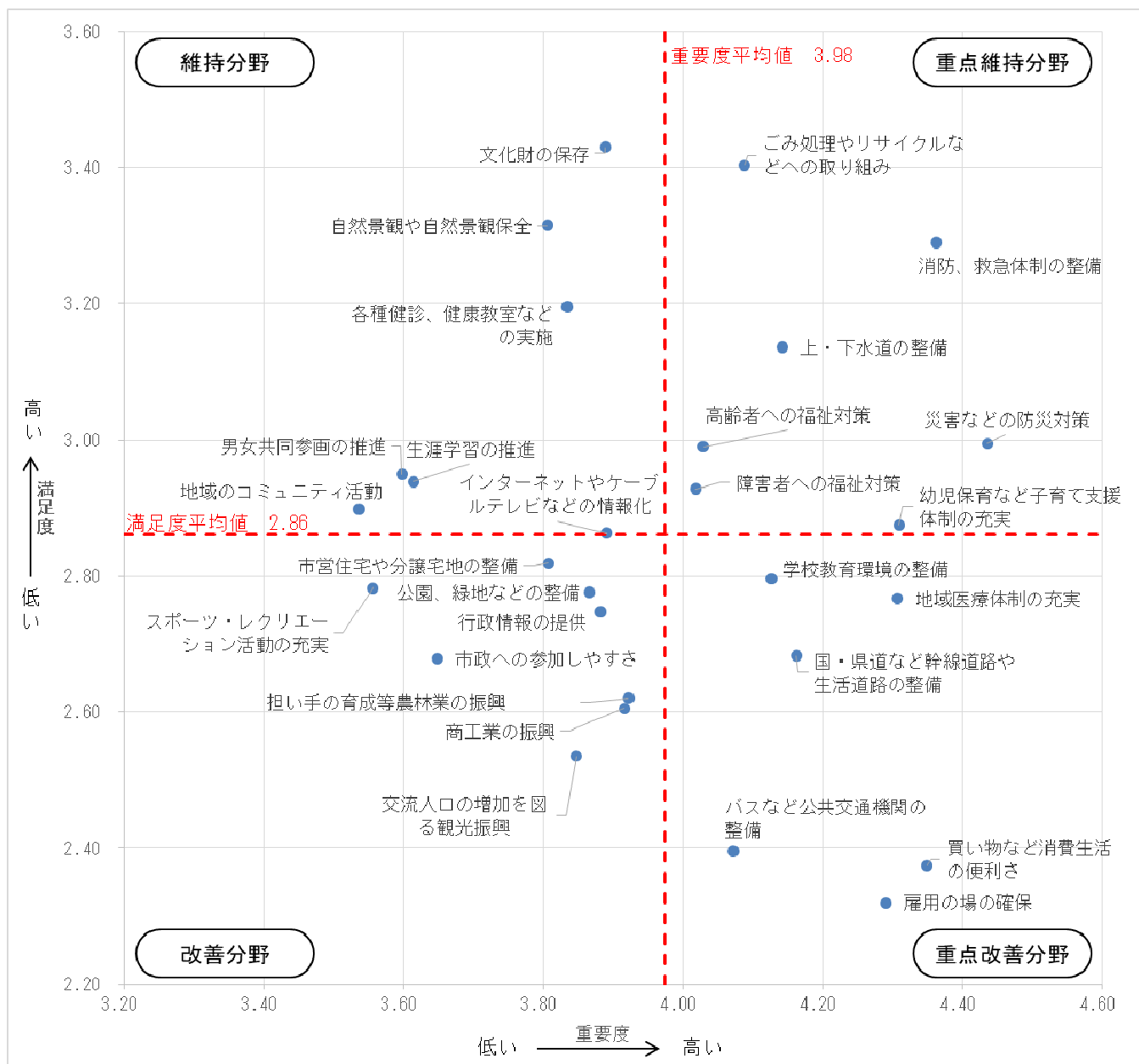


3. まちづくりにおける市民ニーズ

(1) まちづくり施策についての市民ニーズ

まちづくり施策について、「文化財の保存」「ごみ処理やリサイクルなどへの取り組み」「自然景観や自然景観保全」「消防、救急体制の整備」など、生活環境に関する取り組みについては、高い満足度となっています。特に、ゴミ処理やリサイクル、消防、救急体制の整備については重要度も高く、今後も重点的に取り組むべき施策として高いニーズとなっている。

一方で、市民ニーズが高い分野（満足度が低く、重要度が高い）としては、「雇用の場の確保」「買物など消費生活の便利さ」「バスなど公共交通機関の整備」が挙げられている。これらは、定住意向とも関連しており、重点的な取り組みが求められる。



【満足度順位】

満足度について、前回調査より大きくポイントを上げたのが「災害などの防災対策」である。前回調査では 20 位であったが、今回調査では 7 位の満足度となった。

一方で、0.1 以上のポイントが下がったのは、「幼児保育など子育て支援体制の充実」、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」、「買い物など消費生活の便利さ」であった。

●満足度

今回 順位	前回 順位	変化	項目略称	今回 満足度	前回 満足度	ポイント 差
1	3	↑	文化財の保存	3.43	3.40	0.03
2	2	—	ごみ処理やリサイクルなどへの取り組み	3.40	3.42	-0.02
3	1	↓	自然景観や自然景観保全	3.32	3.42	-0.11
4	4	—	消防、救急体制の整備	3.29	3.33	-0.04
5	5	—	各種健診、健康教室などの実施	3.20	3.28	-0.09
6	6	—	上・下水道の整備	3.14	3.17	-0.03
7	20	↑	災害などの防災対策	2.99	2.73	0.26
8	8	—	高齢者への福祉対策	2.99	3.00	-0.02
9	10	↑	男女共同参画の推進	2.95	2.97	-0.02
10	9	↓	生涯学習の推進	2.94	3.00	-0.06
11	11	—	障害者への福祉対策	2.93	2.96	-0.03
12	16	↑	地域のコミュニティ活動	2.90	2.88	0.02
13	7	↓	幼児保育など子育て支援体制の充実	2.88	3.04	-0.17
14	12	↓	インターネットやケーブルテレビなどの情報化	2.86	2.96	-0.09
			全項目平均(今回)	2.86	2.90	-0.04
15	14	↓	市営住宅や分譲宅地の整備	2.82	2.92	-0.10
16	13	↓	学校教育環境の整備	2.80	2.93	-0.14
17	15	↓	スポーツ・レクリエーション活動の充実	2.78	2.89	-0.11
18	18	—	公園、緑地などの整備	2.78	2.86	-0.08
19	17	↓	地域医療体制の充実	2.77	2.86	-0.09
20	19	↓	行政情報の提供	2.75	2.75	0.00
21	23	↑	国・県道など幹線道路や生活道路の整備	2.68	2.60	0.08
22	21	↓	市政への参加しやすさ	2.68	2.71	-0.03
23	25	↑	担い手の育成等農林業の振興	2.62	2.58	0.04
24	24	—	商工業の振興	2.61	2.60	0.01
25	22	↓	交流人口の増加を図る観光振興	2.53	2.61	-0.08
26	27	↑	バスなど公共交通機関の整備	2.40	2.43	-0.04
27	26	↓	買い物など消費生活の便利さ	2.37	2.49	-0.12
28	28	—	雇用の場の確保	2.32	2.33	-0.01

【重要度順位】

重要度について、前回調査より0.1ポイント以上上昇した項目は、「買い物など消費生活の便利さ」、「幼児保育など子育て支援体制の充実」、「学校教育環境の整備」、「インターネットやケーブルテレビなどの情報化」、「市営住宅や分譲宅地の整備」であった。これらは前述の転出理由とも重複する項目が含まれており、取り組みが求められる。

●重要度

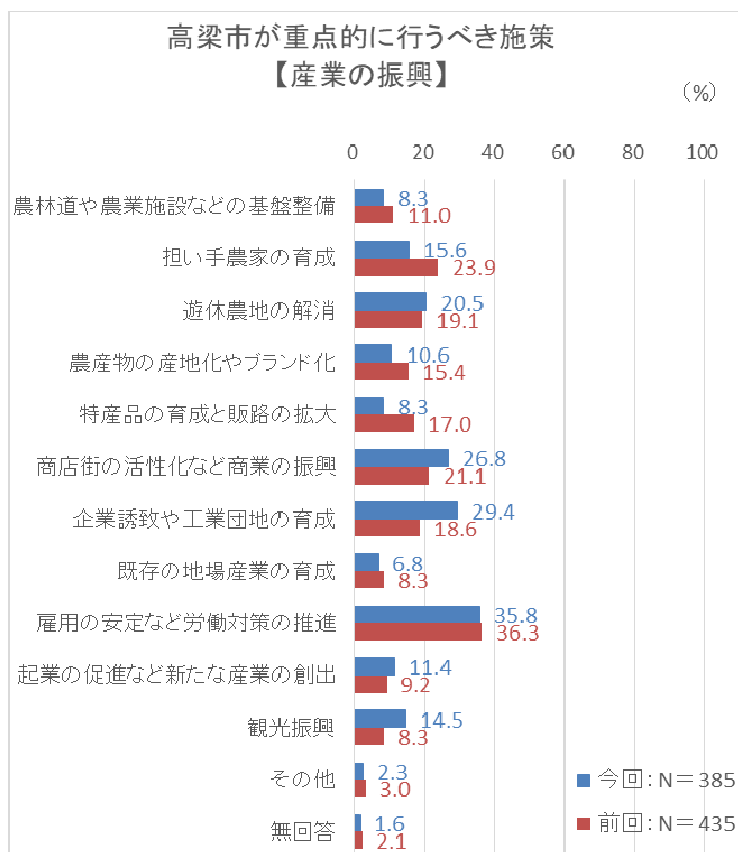
今回 順位	前回 順位	変化	項目略称	今回 重要度	前回 重要度	ポイント差
1	1	—	災害などの防災対策	4.44	4.51	-0.07
2	2	—	消防、救急体制の整備	4.36	4.37	0.00
3	6	↑	買い物など消費生活の便利さ	4.35	4.20	0.15
4	5	↑	幼児保育など子育て支援体制の充実	4.31	4.21	0.10
5	3	↓	地域医療体制の充実	4.31	4.30	0.01
6	4	↓	雇用の場の確保	4.29	4.25	0.04
7	7	—	国・県道など幹線道路や生活道路の整備	4.16	4.18	-0.02
8	11	↑	上・下水道の整備	4.14	4.09	0.05
9	13	↑	学校教育環境の整備	4.13	4.02	0.10
10	8	↓	ごみ処理やリサイクルなどへの取り組み	4.09	4.15	-0.06
11	9	↓	バスなど公共交通機関の整備	4.07	4.13	-0.05
12	10	↓	高齢者への福祉対策	4.03	4.11	-0.08
13	12	↓	障害者への福祉対策	4.02	4.06	-0.04
			全項目平均(今回／前回)	3.98	3.96	0.02
14	18	↑	担い手の育成等農林業の振興	3.92	3.86	0.06
15	19	↑	商工業の振興	3.92	3.83	0.09
16	22	↑	インターネットやケーブルテレビなどの情報化	3.89	3.79	0.10
17	14	↓	文化財の保存	3.89	3.96	-0.08
18	17	↓	行政情報の提供	3.88	3.86	0.02
19	21	↑	公園、緑地などの整備	3.87	3.81	0.06
20	20	—	交流人口の増加を図る観光振興	3.85	3.83	0.02
21	15	↓	各種健診、健康教室などの実施	3.83	3.89	-0.06
22	23	↑	市営住宅や分譲宅地の整備	3.81	3.71	0.10
23	16	↓	自然景観や自然景観保全	3.81	3.87	-0.07
24	25	↑	市政への参加しやすさ	3.65	3.57	0.08
25	27	↑	生涯学習の推進	3.61	3.56	0.05
26	26	—	男女共同参画の推進	3.60	3.57	0.03
27	28	↑	スポーツ・レクリエーション活動の充実	3.56	3.49	0.07
28	24	↓	地域のコミュニティ活動	3.54	3.58	-0.04

(2)分野別の重点的施策ニーズ

①産業の振興

市が重点的に行うべき施策を分野別にみると、産業の振興に関しては、「雇用の安定など労働対策の推進」に35.8%が回答している。

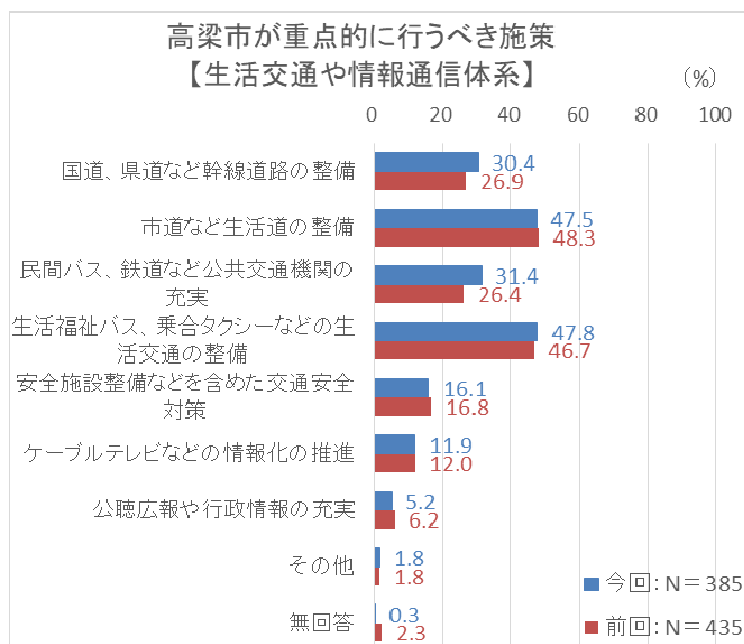
次いで「企業誘致や工業団地の育成」に29.4%、「商店街の活性化など商業の振興」に26.8%が重点的に行うべき施策として挙げている。前回調査と比較すると、「企業誘致や工業団地の育成」は10.8ポイント、「商店街の活性化など商業の振興」は5.7ポイント増加している。



②生活交通や情報通信体系

生活交通や情報通信体系の分野では、「生活福祉バス、乗合タクシーなどの生活交通の整備」に47.8%、「市道など生活道の整備」に47.5%が回答した。

また、「民間バス、鉄道など公共交通機関の充実」は、前回調査より5.0ポイント増加している。

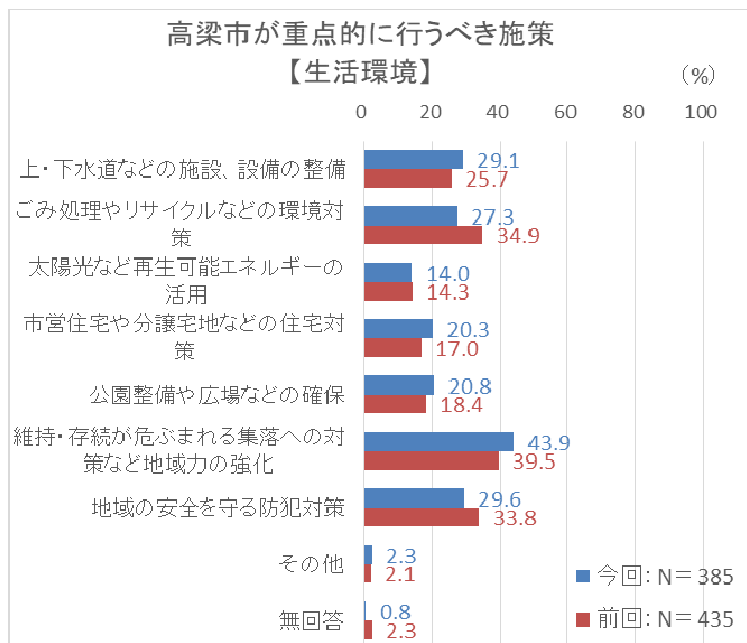


③生活環境

生活環境については、「維持・存続が危ぶまれる集落への対策など地域力の強化」に 43.9%の回答があり、前回調査より 4.4 ポイント増加した。

「地域の安全を守る防犯対策」「上・下水道などの施設、設備の整備」に 3 割近くが回答した。

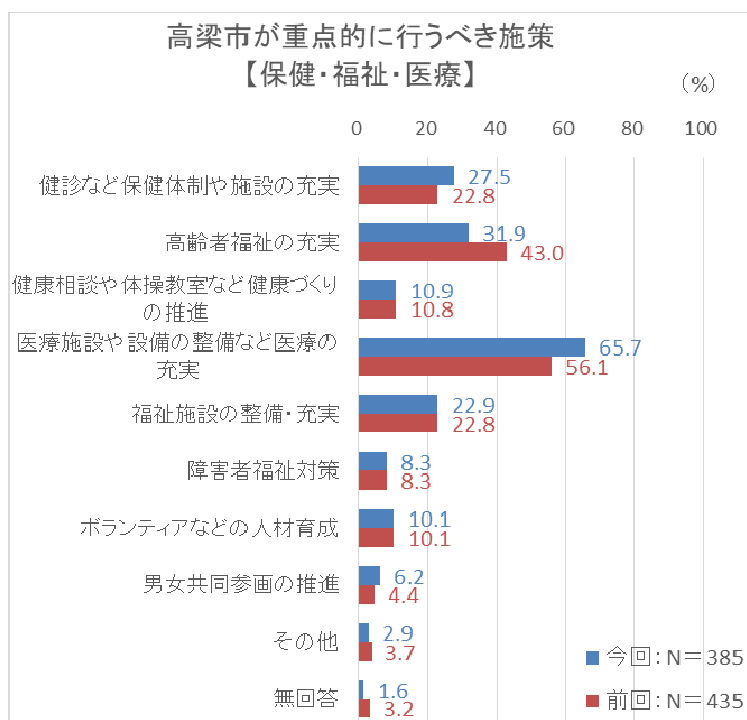
「ごみ処理やリサイクルなどの環境対策」については、前回調査より 7.6 ポイント減少している。



④保健・福祉・医療

保健・福祉・医療については、65.7%が「医療施設や設備の整備など医療の充実」が重要であるとしており、前回調査より 9.6 ポイント増加した。

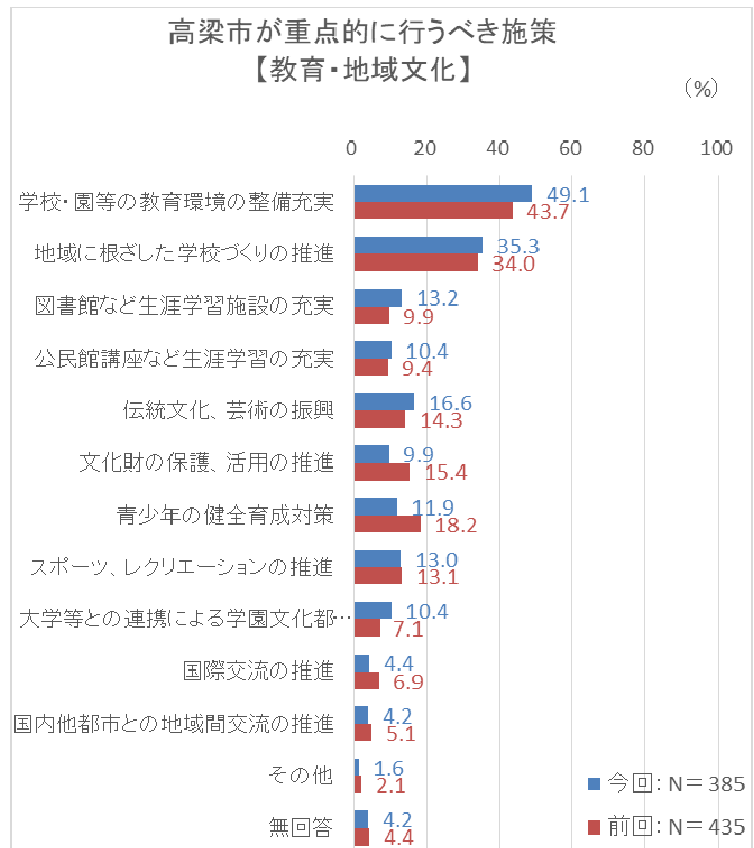
また、「高齢者福祉の充実」に 31.9%が回答したが、前回調査と比較すると 11.1 ポイント減少している。他に、「健診など保健体制や施設の充実」に 27.5%が回答した。



⑤教育・地域文化

教育・地域文化では、半数近くが「学校・園等の教育環境の整備充実」を挙げており、前回調査より 5.4 ポイント増加した。

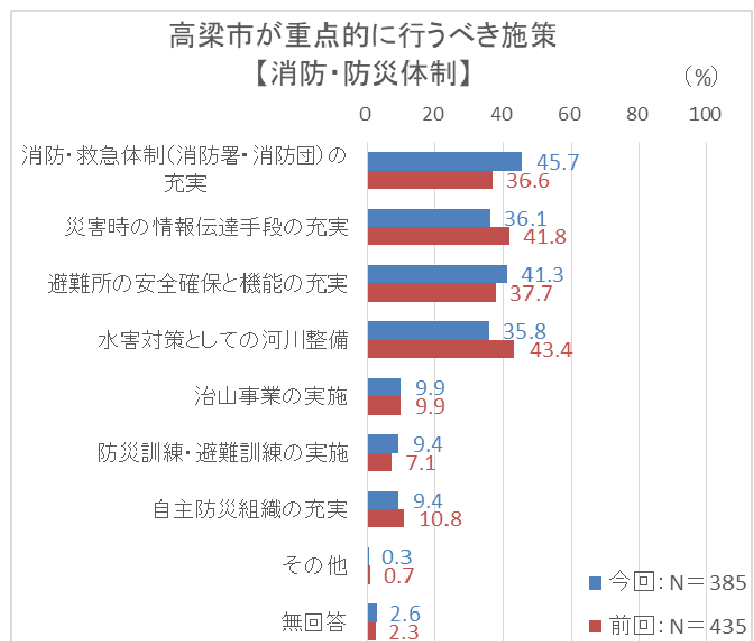
次いで、「地域に根差した学校づくりの推進」を 35.3%が挙げており、学校を中心とした教育や地域文化に関する環境づくりへの意識が高いことがうかがえる。



⑥消防・防災体制

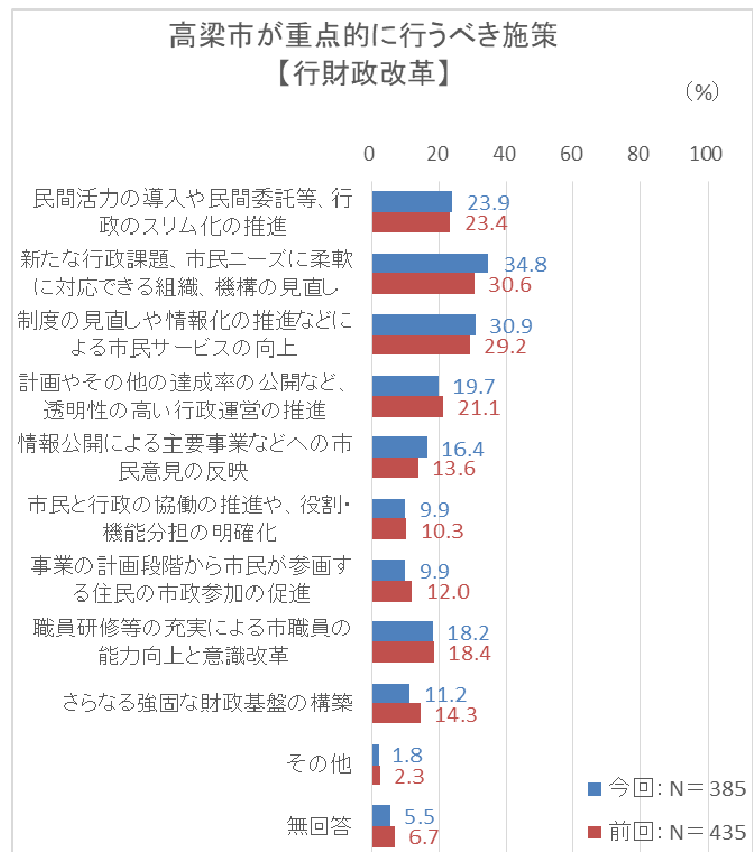
消防・防災体制については、「消防・救急体制(消防署・消防団)の充実」に 45.7%が回答し、前回調査より 9.1 ポイント増加している。

次いで「避難所の安全確保と機能の充実」「災害時の情報伝達手段の充実」「水害対策としての河川整備」が挙げられており、市民意識の高さが伺える。



⑦行財政改革

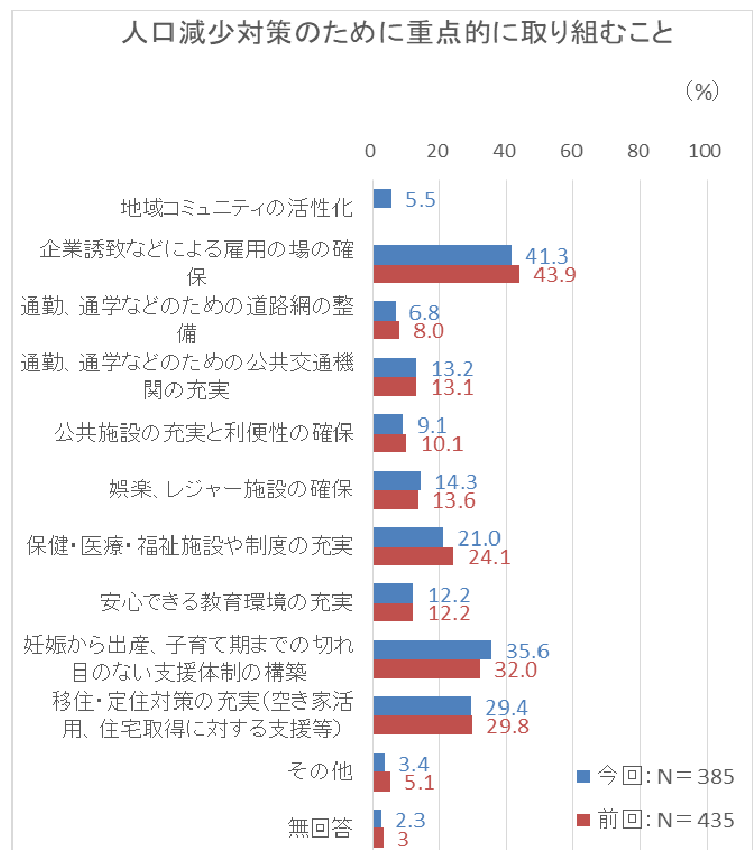
行財政改革の分野については、「新たな行政課題、市民ニーズに柔軟に対応できる組織、機構の見直し」に34.8%、「制度の見直しや情報の推進などによる市民サービスの向上」に30.9%が回答した。



(3) 重点課題への取り組みに対する市民ニーズ

①人口減少対策

高梁市が重点的課題として取り組んでいる人口減少対策については、「企業誘致などによる雇用の場の確保(41.3%)」、「妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援体制の構築(35.6%)」、「移住・定住対策の充実(空き家活用、住宅所得に対する支援等)(29.4%)」が多く挙げられている。

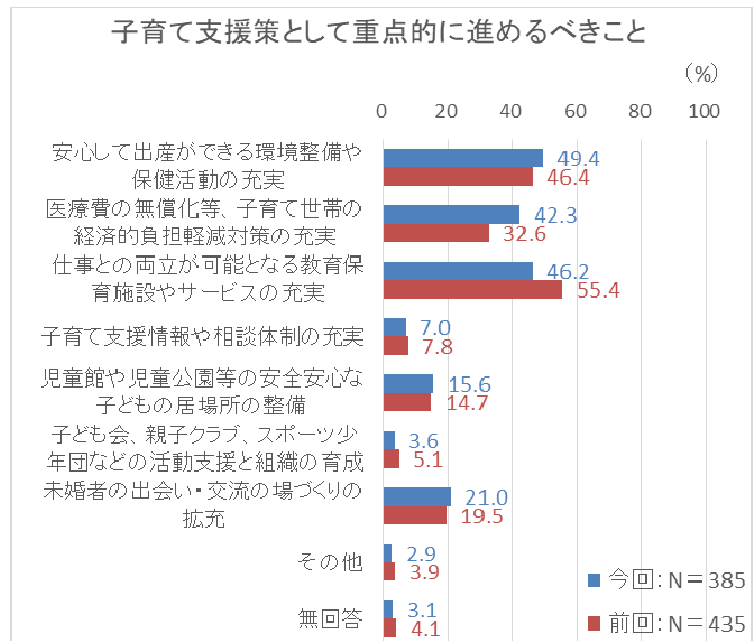


②子育て支援策

子育て支援策については、「安心して出産ができる環境整備や保健活動の充実(49.4%)」が最も多く挙げられた。

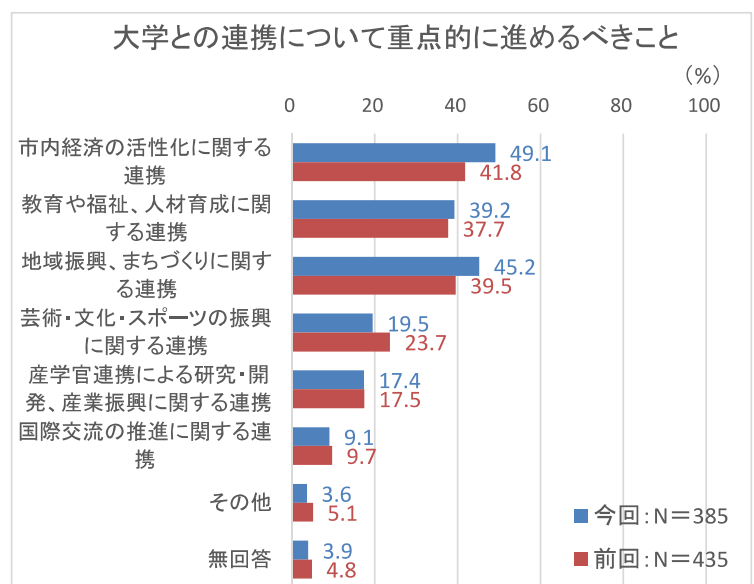
次いで「仕事との両立が可能となる教育保育施設やサービスの充実(46.2%)」となっているが、前回調査より 9.2 ポイント減少しており、対策が認知されていることが伺える。

また、「医療費の無償化等、子育て世帯の経済的負担軽減対策の充実(42.3%)」が挙げられ、支援の充実が望まれている。



③大学との連携

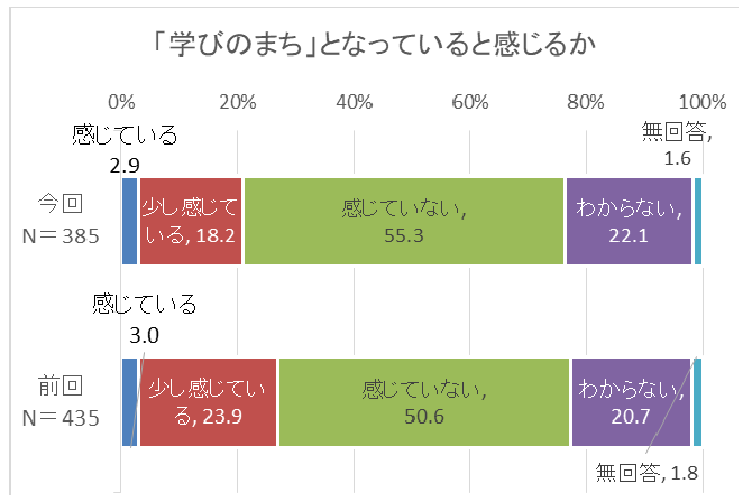
大学との連携については、「市内経済の活性化に関する連携(49.1%)」が、最も多く、次いで「地域振興、まちづくりに関する連携(45.2%)」、「教育や福祉、人材育成に関する連携(39.2%)」が挙げられている。



④「学びのまち」としての実感

「学びのまち」となっていると「感じていない」という回答が半数以上の 55.3%であり、前回調査から 4.7 ポイントの増加となった。

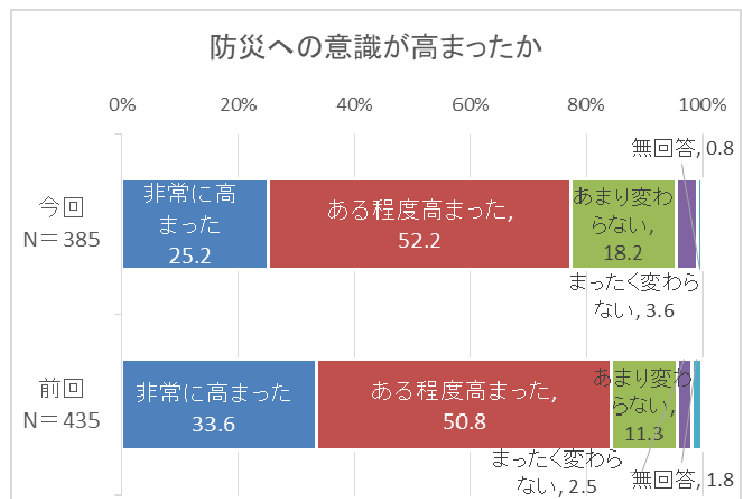
「感じている（2.9%）」、「少し感じている（18.2%）」を合わせても 21.1%にとどまった。



⑤防災への意識

平成 30 年 7 月豪雨災害以降、防災への意識が「非常に高まった（25.2%）」、「ある程度高まった（52.2%）」で合わせて8割近くが高まったと回答している。

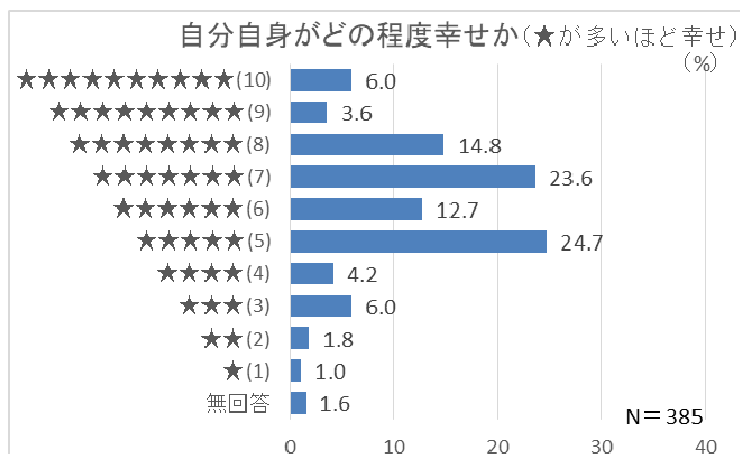
災害直後の前回調査と比較すると、「非常に高まった」という回答が 7.9 ポイント減少し、「あまり変わらない」が 6.9 ポイント増加した。



4. 市民の幸福度

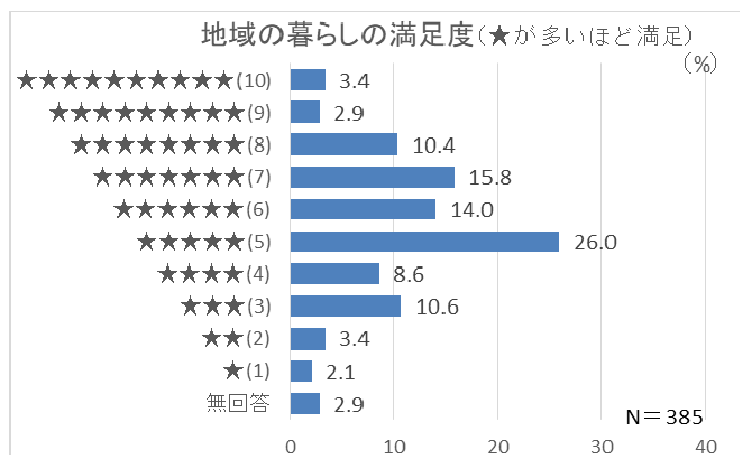
(1) 自分自身の幸福度

自分自身が感じる幸福度を 10 段階での自己評価によると、「5」が最も多く 24.7%、次いで「7」が 23.6%となった。



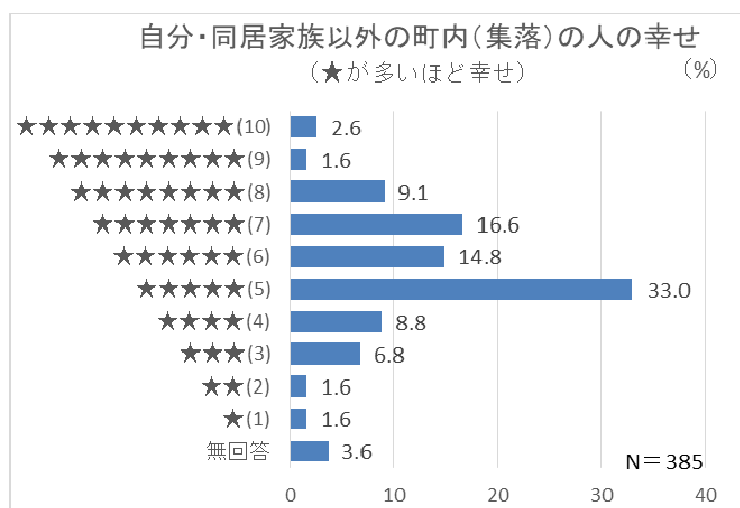
(2) 地域の暮らしの満足度

現在の地域の暮らしの満足度について、10 段階評価で「5」が 26.0%と最も多く、次いで「7」が 15.8%、「6」が 14.0%であった。



(3) 自分・同居家族以外の町内(集落)の人の幸せ

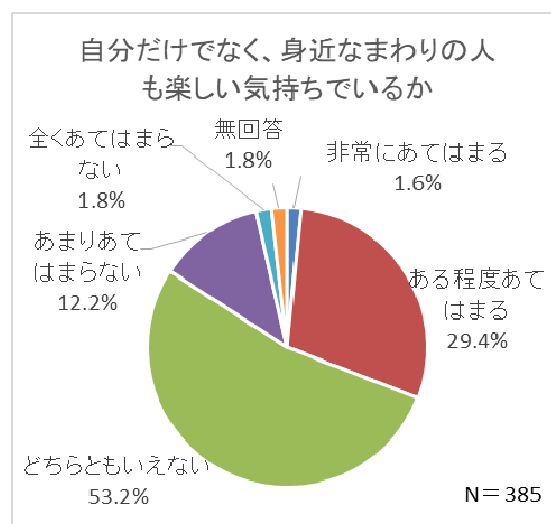
町内(集落)の人の幸せについても、10 段階評価で「5」が 33.3%と最も多く、次いで「7」が 16.6%、「6」が 14.8%となった。



(4) 身近なまわりの人の幸せ

自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思うか、という問いに対しては、「どちらともいえない」と半数以上の 53.2%が回答した。

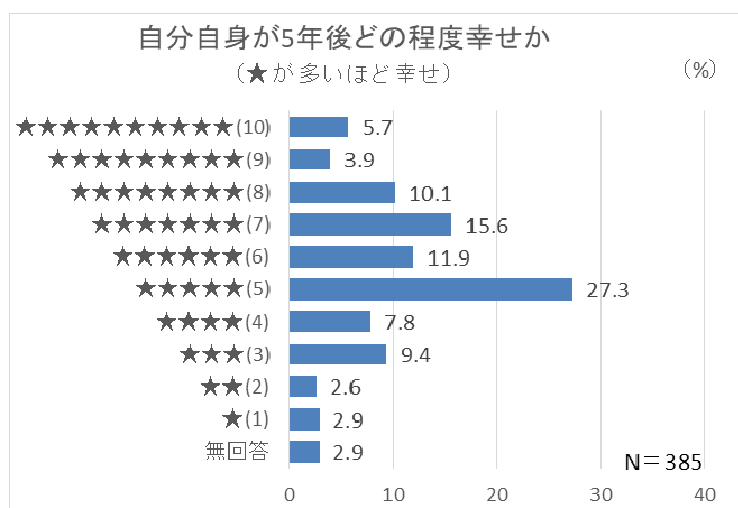
次いで「ある程度あてはまる」と 3 割近くが回答している。



(5) 5年後の幸せ

5年後の幸せについての 10 段階評価では、「5」が 27.3%、「7」が 15.6%であった。

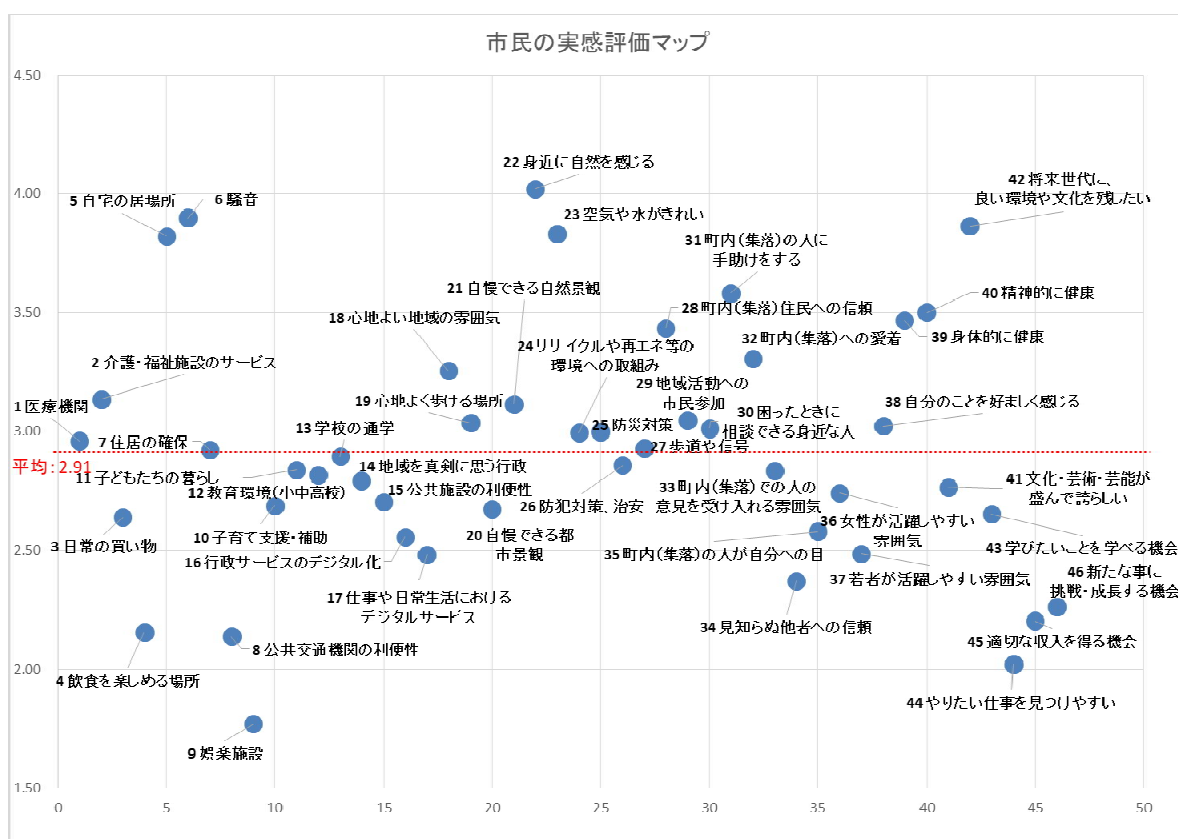
現在の幸福度と比較すると、「10」「8」「7」の割合がやや下がる結果となった。



5. 市民の実感

市民の実感として、「身近に自然を感じることができる」「騒音が少ない」「空気や水が澄んでいてきれいだと感じる」実感が高く、「将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」と、良好な自然環境への実感が高い。

一方で、「楽しい時間を過ごせる娯楽施設」「飲食を楽しめる場所」「公共交通機関」についての充実度は低くなっている。また、「やりたい仕事の見つけやすさ」「適切な収入を得るための機会」につ



いても低い実感となっている。

項目	評価
1 暮らしている地域は、医療機関が充実している	2.96
2 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	3.14
3 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	2.64
4 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	2.16
5 自宅には、心地のいい居場所がある	3.82
6【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている	3.90
7 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	2.92
8 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	2.14
9 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	1.77
10 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	2.69
11 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	2.84
12 私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	2.82
13 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	2.89
14 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	2.79
15 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	2.70
16 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	2.56
17 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	2.48
18 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	3.25
19 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	3.04
20 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	2.67
21 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	3.12
22 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	4.02
23 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	3.83

項目	評価
24 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	2.99
25 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	3.00
26 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	2.86
27 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	2.93
28 私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	3.43
29 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	3.05
30 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	3.01
31 私は、町内(集落)の人が困っていたら助けをする	3.58
32 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	3.31
33 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	2.83
34 私は、見知らぬ他者であっても信頼する	2.37
35 私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	2.58
36 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	2.74
37 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	2.49
38 自分のことを好ましく感じる	3.02
39 私は、身体的に健康な状態である	3.47
40 私は、精神的に健康な状態である	3.50
41 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	2.77
42 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	3.87
43 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	2.65
44 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	2.02
45 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	2.20
46 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	2.26